

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際バカロレア事業への拠出		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度		担当課室	国際課企画調整室		企画調整室長 犬塚 隆志		
会計区分	一般会計		施策名	XIV-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国際交流政策懇談会 最終報告書(平成23年4月21日) グローバル人材育成推進会議 審議まとめ(平成24年6月) グローバル人材育成推進会議幹事会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際バカロレア事業への日本の立場を明確にするとともに、日本における高等教育機関等の国際化の推進に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際バカロレア機構は、インターナショナルスクール等のバカロレア認定校の卒業生に、国際的に認められる大学入学資格である国際バカロレア資格を与え、大学進学へのルートを確保するとともに、学生の柔軟な知性の育成と国際理解教育の促進に資することを目的として、認定校に対する共通カリキュラムの作成などを行っている。日本の拠出金は、日本における高等教育機関等の国際化の推進等のため、以下の事業に活用されている。 ○国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳 ○日本におけるワークショップやシンポジウムの開催 等							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	3	3	3	3	129	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	3	3	3	3	129	
		執行額	3	3	3			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (29年度)
	日本国内における国際バカロレア認定校数		成果実績	校	17	19	23	200
			達成度	%	9%	10%	12%	
	シンポジウム参加団体数		成果実績	団体	-	-	60	60
		達成度	%	-	-	100%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際バカロレア資格試験の日本における受験者数		活動実績 (当初見込み)	人	234	238 (-)	272 (-)	- (-)
	国際バカロレア資格の日本における取得者数		活動実績 (当初見込み)	人	213	211 (-)	242 (-)	- (-)
	シンポジウムの開催数		活動実績 (当初見込み)	回	1	1 (1)	1 (1)	- 1
	国際バカロレア認定校教員向けのワークショップの開催		活動実績 (当初見込み)	回	0	1 (1)	2 2	- (-)
単位当たりコスト	50千円/団体		算出根拠	平成23年度執行額 / シンポジウム参加団体数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	ユネスコ事業等拠出金	3百万円	84百万円	日本語ディプロマプログラム開発及びモデル校事業実施に必要な経費を25年度に要求するため。				
	国際協力推進事業委託費	0百万円	45百万円					
	計	3百万円	129百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材育成推進会議の提言でも「高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる。」と記載される等、優先度が高い。 ・国際機関への拠出金であり、国が拠出すべき。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成のワークショップについては、日本からの拠出金のみならず、国際バカロレア機構の資金、参加する教員の参加費によって賄われている。 ・国際バカロレア教員の要請、普及のためのワークショップ等真に必要なものに限定して支出されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・拠出金は、国際バカロレア認定校で授業を行うために必要な国際バカロレア機構主催の教員養成ワークショップや普及のためのフォーラム等に有効活用されており、その結果、国際バカロレアの認定校数は着実に増加しており、実効性が高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点 検 結 果	<p>・国際バカロレア機構は、国際バカロレア資格(国際的に認められている大学入学資格)を与える業務のほか、共通カリキュラムの作成等を実施している。グローバル人材育成推進会議の審議まとめにおいて、高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加することとされている。現在は、いわゆるインターナショナルスクールのみならず、学校教育法第一条に該当する学校(以下、「一条校」と言う)の加盟校についても増加している状況(平成24年5月現在、日本における国際バカロレア認定校23校中6校が一条校)。</p> <p>・グローバル人材育成推進会議の提言でも「高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる。」と記載される等、国際バカロレア機構への資金拠出は優先度が高い。引き続き、拠出先である国際バカロレア機構に適切な予算執行について要請していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一 部 改 善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、①国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳、②日本におけるワークショップやシンポジウムの開催等により、国際バカロレアへの日本の立場を明確にするとともに、日本における高等教育機関等の国際化の推進に資することを目的として国際バカロレア機構に拠出しているものであり、長期継続事業及び事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、昭和54年度からの長期継続事業であるところ、国内の国際バカロレア認定校数の増加といった成果目標の達成度等、事業成果を検証するとともに、グローバル人材育成推進会議審議まとめを踏まえ、事業内容の再構築を図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執 行 等 改 善	<p>本事業については、国内の国際バカロレア認定校数が年々増加するなど事業成果が現れつつあるが、グローバル人材育成推進会議の審議まとめにおいて、「高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる。」という目標が示されたことを踏まえ、平成25年度概算要求においては、認定校数の増加促進に資するモデル校事業を実施することを含め、事業内容の再構築を図ることとする。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0396	平成23年行政事業レビュー	0012

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
3百万円

〔 国際バカロレア事業への拠出 〕

【拠出金】

A.国際バカロレア機構
3百万円

〔 国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教
材等の日本語への翻訳、日本におけるワー
クショップやシンポジウムの開催等 〕

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.国際バカロレア機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際バカロレア事業の運営に必要な経費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※拠出金である

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際バカロレア機構	国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳、日本におけるワークショップやシンポジウムの開催等	3	-	-